

農業分野における光利用 — ホワイトアスパラガスの新規栽培技術 —

【背景】

ホワイトアスパラガスは光に当たると着色してしまうため、遮光資材で被覆したハウスで栽培されている。このため収穫作業や選果作業は暗所で行われており、安全性や生産性に課題がある。

【取り組み概要・成果】 研究期間：2022年度～2026年度

「馬鈴薯緑化防止用照明装置（ポテライト）」のホワイトアスパラガス栽培への適用検討

① アスパラガス研究の第一人者である酪農学園大学 園田教授との共同研究

ホワイトアスパラガス栽培試験・貯蔵試験を実施

- 栽培温度や品種を考慮することで収穫時のポテライト利用は可能
- 収穫後のポテライト点灯は着色に影響しない



② ベルファーム(株)（静岡県、鈴与商事グループ会社）と連携し、圃場・選果場での実証試験を実施

- 収穫作業時のポテライト点灯はホワイトアスパラガスの着色に影響せず、安全性が向上し、作業時間も短縮
- 選果場での点灯も着色に影響せず、作業の安全性が向上し、作業効率も向上



- ・ベルファーム(株)の圃場・選果場へのポテライト導入が決定
- ・R6年度農業電化コンクールで大賞（農林水産省農産局長賞）受賞（受賞者：酪農学園大学、ベルファーム(株)）



大学圃場での6月収穫例
(左：暗所区、右：点灯区)



ベルファーム(株)の栽培施設全景
栽培棟：17棟、大玉トマト：4.8ha
アスパラガス：52a（2棟分）



ポテライトを導入したベルファーム(株)の圃場

【期待される効果】

一次産業分野での地域共創。新たなサービスやビジネスの提案によるお客様との信頼強化と当社営業活動の支援